

活動レポート

周南アマチュア無線防災ネットワーク

今回は、アマチュア無線を災害時の情報収集・伝達に活用するための取り組みを行っているグループをご紹介します。



周南アマチュア無線
防災ネットワークの皆さん

1. 会を発足したきっかけや経緯を教えてください。

2011年に発生した東日本大震災では電話やインターネットが使用困難となる中、タクシー無線やアマチュア無線が通信手段として活躍しました。以降、多くの自治体が地元のアマチュア無線家クラブと協定を結び始める等、災害時におけるアマチュア無線家の活躍への期待が高まっていたのですが、2013年当時、周南市にはアマチュア無線家クラブがありませんでした。そこで、周南市でもアマチュア無線家が災害時の情報収集や伝達に協力できるよう、同年秋から会長が有志に呼びかけ、翌年2月に会を発足させました。発足当時の会員数は20名でしたが、今では70名となり、中学1年生～60・70代という幅広い世代の会員で活動しています。

2. 現在の主な活動内容について教えてください。

毎週火曜日の21時から、会員各自が自宅で無線を使用して電波の上で会議を行う「オンエアーミーティング」を行っており、通常15～20名が参加しています。アマチュア無線は電話と違い1対多数への情報伝達が可能であるため、一人の意見は参加者全員に瞬時に伝わります。集合場所も不要で、会場に出向くこともないため、時間と経費の節約ができています。また、実際に対面して技術向上のための研修等を行う「アイボールミーティング」を年3回ほど、そして市内各地で各地域間の電波の伝搬状況を調査する「伝搬テスト」を月に1回行っています。

また、周南市の総合防災訓練には毎年参加しています。この訓練では各地に散らばった会員が無線局を開設し、会員間で状況を報告し合い、それを最終的に市の災害対策本部に報告する役を担っています。他には、各地域のイベントに参加して電波伝搬状況の調査や地区の実情に合った通信方法の提案、アマチュア無線のPR等も行っています。



総合防災訓練の様子

3. アマチュア無線の魅力や長所とは？

アマチュア無線は、年齢も、職業も、居住地も問わずに様々な方との交信が楽しめます。国内全域のみならず海外とも交信が可能で、実際にアジア諸国のみならずアメリカ、ロシア、そして南極とも交信したことがあります。交信にかかる料金は無料で、年間300円の電波利用料のみが必要です。

4. なぜアマチュア無線は災害時に非常通信手段として活躍できるのですか？

災害時の情報収集・伝達手段には様々なものがありますが、そのうち電話やインターネット等の回線を必要とするものは通信の集中や回線の寸断等により使用不可能になることもあります。事実、東日本大震災では電話やインターネットが使用困難となり、大きな混乱を招きました。回線を必要としない手段としてはラジオや市町村が設置する防災行政無線等が挙げられますが、それらでは外部への情報伝達はできません。しかし、アマチュア無線は回線を必要としませんし、情報の収集のみならず伝達も可能で、更に1対1だけでなく1対多数への情報伝達が可能です。このような点から、アマチュア無線は非常通信手段として大きな活躍が可能であると言えます。なお、アマチュア無線のこのような特性を登山時に役立てることも可能です。

5. アマチュア無線は災害時、中山間地域において特に必要であると聞きました。

アマチュア無線は災害時に中山間地域の孤立を防ぐ役割を担っています。中山間地域は地形条件や交通アクセス、電波の伝搬状況等から孤立集落が発生しやすい場所です。そのようなことから当会では昨年、地元の方々の協力のもと須金地区に「周南アマチュア無線防災ネットワーク 須金支部」を発足しました。須金地区には携帯電話の電波が届かない地域もあるため、アマチュア無線を非常時に活用しようとする動きが本格化したのです。これを起点として、今後は他地区にも支部を作る動きを広げてゆければ、と思います。



須金支部の活動の様子

7. 活動の中で印象に残っていることや、嬉しかったことはありますか。

2014年8月に周南市と「災害時における情報の収集伝達に関する応援協定」を締結しましたが、まさか市と協定を結べるようになるとは想像もしていなかったため、とても嬉しかったですし、身が引き締まる思いがしました。また、市の防災訓練に毎年協力できていることも嬉しく思いますし、会の須金支部の発足も重要なことであったと感じます。



協定書調印式

8. 今後取り組みたいことを教えてください。

まずは、各地域との関係構築に励みたいです。災害時に実際に地域で活動するためにはその地域のことをよく知っておく必要がありますし、また地域の方にもアマチュア無線の利用について知っていただく必要があると思います。そのため、今後は各地域と協力関係を築き、当会の活動にご理解をいただいて共同で訓練等ができるようになればいいなと思います。なお、災害時に孤立しやすい中山間地域との関係構築には特に力を入れてゆきたいです。

他には、各避難所へのアンテナの設置も目指しています。災害時には行政と各避難所の相互連絡が重要ですが、各避難所にアンテナが設置されていれば無線通信を利用して避難所から行政へ連絡を取ることが可能になるので、いつか実現させたいと思っています。

7月17日・24日「第4級アマチュア無線技士養成講習会」を開催。詳細は支援センターHPへ。

6. アマチュア無線の使用には免許が必要なのですか？

公共の電波を利用するため、2つの免許が必要です。1つは無線従事者であることを証明する「第4級アマチュア無線技士従事者免許」、もう1つは無線機を利用するための「無線局免許」です。当会ではアマチュア無線家の養成を目的に「第4級アマチュア無線技士従事者免許」取得のための講習会を開催しており、今年7月17日・24日（いずれも日曜）の2日間にわたって開催します。全10時間の講習を受講して修了試験に合格すると国家試験が免除となり、生涯有効の国家資格「第4級アマチュア無線技士」の従事者免許証を取得できます。受講資格に制限はなく、誰でも受講できる上、講習会の内容は初心者でもわかりやすく、全国の合格率は95%以上です。興味がある方はぜひお申込みください。

9. 皆さんに伝えたいことをどうぞ！

活動を始めて、若い世代のアマチュア無線家を育てたいという思いや、アマチュア無線を復興させたいという思いが強くなりました。現在、携帯電話の普及により無線局の数は減少しています。更に、アマチュア無線家人口が高齢化していることも事実です。非常時にアマチュア無線を使用できる方を確保するためにも若い世代の育成は必要だと思いますし、昔はアマチュア無線を使用していたが現在は閉局中、という方にはぜひ再開局していただき、非常時にはそれを役立てていただきたいと思います。そのためにも、まずはアマチュア無線や当会の活動についてより多くの方のご理解とご協力をいただけるよう、活動を充実させてゆきたいと思います。

◆周南アマチュア無線防災ネットワーク◆

TEL 0834-21-6820(土井)

メール doionkyo@ccsnet.ne.jp

HP <http://www.ccsnet.ne.jp/~doionkyo/bousai/bousai.htm>